

5年生 宿泊研修



水保環境学習で学んだこと
五年一組 山村 紗英

わたしは、水保環境センターや水保資料館では水保環境学習について、あじきた青少年の家では集団行動について学びました。水保環境学習では、語り部さんの経験した話を聴きました。その一つ一つの言葉に重みを感じ、真剣に学ぶことができました。実際に現地に行くことでよくわかることができました。

青少年の家では、行動する時間、やらなければいけないことが決まっています。ふだんの生活とは比べものにならないくらいきびしい生活体験をしました。ナイトハイクでは、こわさで泣いていたつもりでしたが、無事にみんなゴールできてよかったです。この集団宿泊で協力することの大切さを学び、共感することの喜び、うれしさも学ぶことができました。有意義な時間になったと思います。

集団宿泊教室で学んだこと
五年二組 古閑 玲奈

水保に学ぶ前後の二教室・集団宿泊教室で、私はたくさん学ぶことができました。その中でも、強く心に残った言葉は、「強く生きる大切さ」です。周りの人と過ごす日々から、毎日の楽しさをみつづけること、そして、一日一日を大切に、一歩一歩前に進むことが大切だということに気づくことができました。

もう一つは、「協力することの大切さ」です。みんなで協力し、目標に向かってみんなで気持ちを一つにして取り組んだら、何となく活動は忘れられない思い出になりました。

これから私は、二日間学んだことを学校でも活かしていきたいです。日々の生活の中で、周りの人々を大切にしたり、みんなと協力したり、高学年として、みんなのお手本となる行動をし、高田小学校を引っ張ってまいります。



編集
高田小PTA部
発行責任者
PTA会長 坂元 謙
児童数 374名
11月29日現在
印刷 クキヤ印刷株

Instagram Official website
Please follow and good me!

6年生 修学旅行



雨がまんしくくれた
六年一組 武部 菜巳

私は、雨がまんしくくれたなと思いました。初日は、雨がまんせずには笑ってしまいました。雨もわくわくしていたのだと思います。もちろん、私共です。

初日は、としゃぶりだった小雨だった。雨も修学旅行が楽しみたい、笑ったのでした。笑みでそわそわしていた雨は、つい笑っていたから、被爆者講話のとき、雨を聞いて、被爆者講話のとき、話を聞いた。被爆者講話のとき、話を聞いた。被爆者講話のとき、話を聞いた。

修学旅行を振り返って 成長したこと
六年一組 永野 杏奈

ぼつぼつ、サーサー、サーサー。修学旅行二日目の朝です。一日目の平和学習を終え、この日はハウステンボスでの班別自主活動の日でした。(せつぱくの修学旅行が、ハウステンボスでは雨もあつた。不安な気持ちでバスに乗りました。それから時間が経ち、ハウステンボスに到着するころには雨もやみ、わくわくした気持ちになりました。本当に、あつという間に時間が過ぎました。

これまでの私は、班行動は苦手で、しかし、班のみんなと意見を話し合っ、計画を変更しながら、楽しく過ごることができたと思います。雨があつた空を見て、とても満足した最高の気分でした。

修学旅行の言葉である「感謝・感動・思いやり」を意識して、友達を大切にすることを意識して、成長したことが、成長したことを思います。



150周年記念事業

ドローン撮影(10月3日)



記念植樹・記念碑除幕式(11月13日)



150周年記念式典・記念祭(11月18日)



PTA活動



救命救急講習(6/21)



あいさつ運動(8/25)



親子作業(9/23)



役員親睦スポーツ大会(ふらばーるバレー)(8/13)



親善親子スポーツ大会(ふらばーるバレー)(10/22)



回長を経験して思ったこと
 赤団回長 六年一組 山下 夏音

「回長」というあまりできない経験ができて、やって良かったと思います。運動会を通して五年生や他の学年の人とも仲良くなり、地域の方や中学校の先生にも声をかけられました。たくさんの方々に支えられていたのだと感じられて、うれしかったです。

応援団のみんなは、私をサポートしてくれました。全校応援では、一年生や二年生など下級生が積極的に声を出してくれました。先生方には、演舞についてのアドバイスをもらいました。そして家族には、毎日の食事や習い事への送迎など生活面で支えてもらいました。

この経験をいかして、私は、何にでも積極的に挑戦する人になりたいです。周りにいる友達や仲間と協力して、新しいことに挑戦しながら、卒業するとき心から楽しかったと思える小学校生活にしたいです。



みんなで協力した応援団
 高団回長 六年一組 阿部 悠月

応援団のはじまりは不安でいっぱいでした。練習がはじまってすぐは、練習に遅れたり遊んだりしていました。少しずつ、みんなも練習に遅れたり来なくなったりしました。けれど、これではまずいと思い、少ない人数でも声を出さなければ、高団の応援歌や呼びかけの準備の時は、とても忙しかったです。そんな中、ぼくの声が聞こえてほくの代わりに声を出してくれました。回長としての責任を感じました。

今年は、一から六年生全員で応援合戦をするので、とても緊張しました。本番当日も声がかれていたので、大きな声を出せるか心配でした。高団は負けてしまったけれど、みんなが協力できたから心の中では高団が勝ったと思います。一緒に全力で応援をした仲間が存在は、とても大切な思い出です。充実した運動会になりました。